

|| 孺恋村特定環境保全公共下水道事業経営戦略 概要版

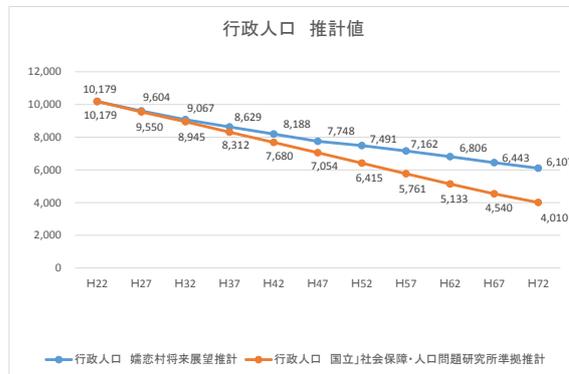
1. 「孺恋村特定環境保全公共下水道事業経営戦略」の策定にあたって

近年、施設等の老朽化に伴う更新費用の増大、人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境が厳しさを増すなか、将来にわたって安定的な下水道事業を継続していくため、孺恋村特定環境保全公共下水道事業における中長期的な計画である「経営戦略」策定を行うことを目的とする。

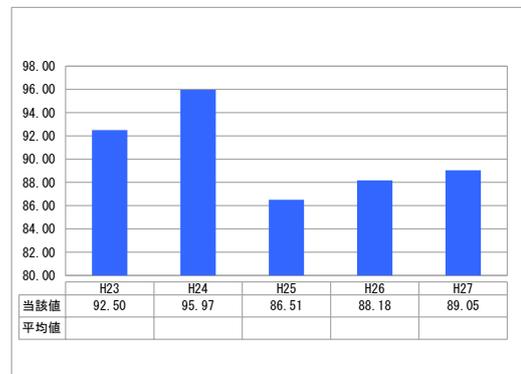
計画期間 平成 29 年度 ～ 平成 38 年度

2. 現状と課題

○将来人口の推計



○経営状況（収益的収支比率(%)）



孺恋村の総合計画では平成 22 年から 5 年間隔で行政人口を推計し、各種政策の実施と合わせ、平成 72 年度には約 6,100 人程度となる予測となっている。

経営状況は施設整備が概ね完了している中、現在は健全な経営を行っている。

しかし、平成 7 年度の供用開始から、20 年以上経過しており、施設の老朽化に伴って維持管理費の増加と耐用年数を迎えるときの更新費用の確保が課題となる。

3. 経営戦略の基本方針

○経営理念

人口減少や節水意識の高まりにより、汚水水量の減少に伴う料金収入の減少が予想される中、下水道事業は村民の生活や村の産業に直接的な影響を及ぼす基盤事業であると位置づけ、持続的で健全な運営を図りながら、公共水域の水質保全、住民の快適で安全・安心な暮らしづくりに貢献することを基本理念とします。

○基本方針

下水道事業は村民の生活や村の産業に直接的な影響を及ぼす基盤であるため、重要性や劣化状況に応じた優先度を検討した上で、予防保全型の維持管理に努めます。

今後、節水意識の向上や節水型機器の普及、使用人口の減少により、汚水水量の減少（＝料金収入の減少）が予想されるため、管理体制の効率化、コスト削減に努めます。

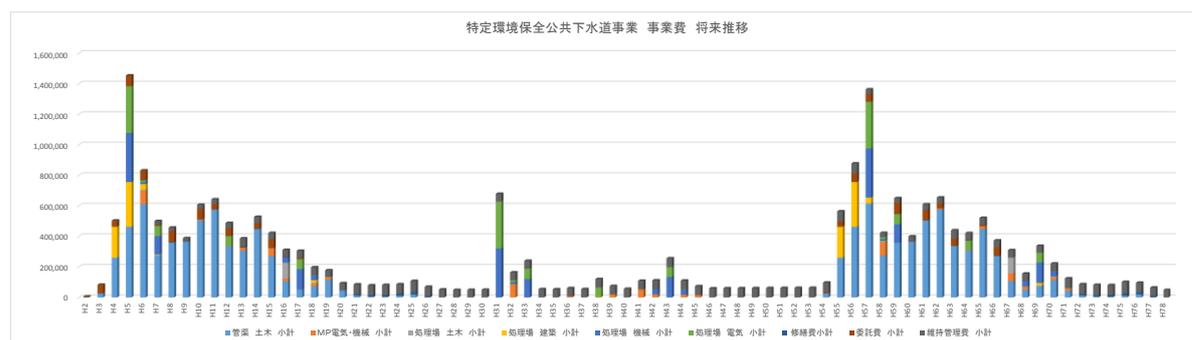
孺恋村水洗便所改造資金融資制度や孺恋村住宅改修等助成金制度について周知し、接続率・水洗化率の向上に向け積極的な広報活動を行います。

4. 経営の効率化・健全化への取り組み

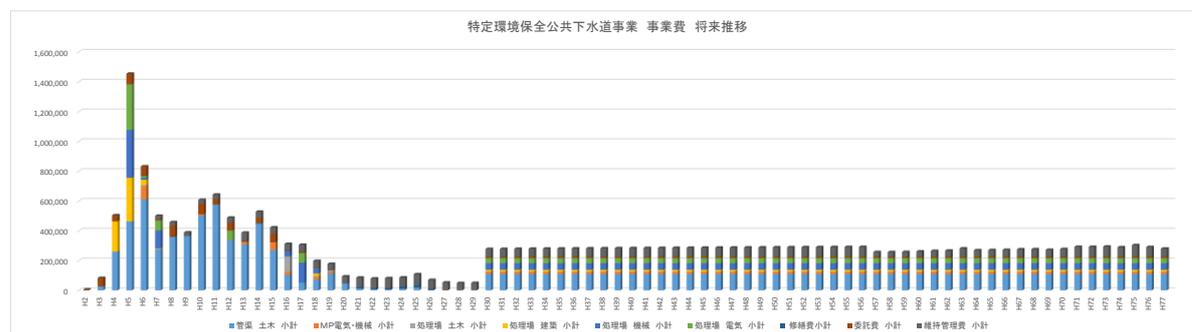
広域化・共同化・最適化に関する事項	料金算定システムを近隣6町村で統一してシステムの最適化を図る
投資の平準化に関する事項	今後ストックマネジメントや長寿命化計画を策定、現状に見合った施設規模（ダウンサイジングや統廃合）を検討する。
使用料の見直しに関する事項	料金収入の低下による財政状況を見極め、見直し時期を定め、検討していく。

5. 投資・財政計画（収支計画）

○事業費の将来推移（耐用年数による更新を実施した場合）



○事業費の将来推移（建設費の均一化）



施設の老朽化に伴い、維持管理費の増大や、老朽化に伴う耐用年数超過に備えての施設更新などの事業費が、施設更新時期には、事業創設時と同等以上の費用が発生する。
その費用を計画的に、且つ一定量の費用で行うこととし、事業費の均一化をはかる。

6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略策定後は、毎年度後に計画値と実績値を検証していき、計画値と実績値が乖離している状況を確認したら、速やかに見直しを行い、健全な経営状態を維持していくことに努める。

|| 婦恋村農業集落排水事業経営戦略 概要版

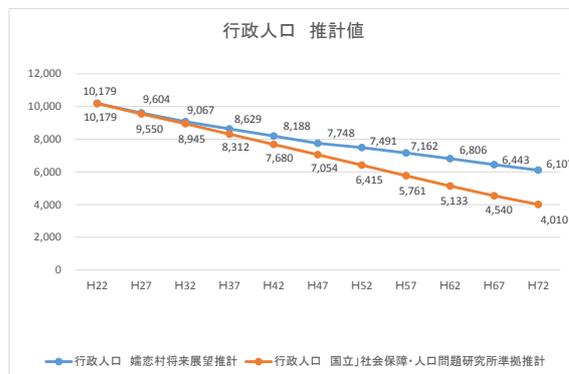
1. 「婦恋村農業集落排水事業経営戦略」の策定にあたって

近年、施設等の老朽化に伴う更新費用の増大、人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境が厳しさを増すなか、将来にわたって安定的な下水道事業を継続していくため、婦恋村農業集落排水事業における中長期的な計画である「経営戦略」策定を行うことを目的とする。

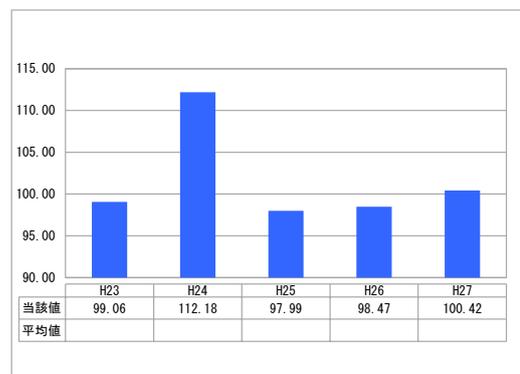
計画期間 平成 29 年度 ～ 平成 38 年度

2. 現状と課題

○将来人口の推計



○経営状況（収益的収支比率(%)）



婦恋村の総合計画では平成 22 年から 5 年間隔で行政人口を推計し、各種政策の実施と合わせ、平成 72 年度には約 6,100 人程度となる予測となっている。

経営状況は施設整備が概ね完了している中、現在は健全な経営を行っている。

しかし、平成 7 年度の供用開始から、20 年以上経過しており、施設の老朽化に伴って維持管理費の増加と耐用年数を迎えるときの更新費用の確保が課題となる。

3. 経営戦略の基本方針

○経営理念

人口減少や節水意識の高まりにより、汚水水量の減少に伴う料金収入の減少が予想される中、下水道事業は村民の生活や村の産業に直接的な影響を及ぼす基盤事業であると位置づけ、持続的で健全な運営を図りながら、公共水域の水質保全、住民の快適で安全・安心な暮らしづくりに貢献することを基本理念とします。

○基本方針

農業集落排水事業は集落村民の生活や村の産業に直接的な影響を及ぼす基盤であるため、重要性や劣化状況に応じた優先度を検討した上で、予防保全型の維持管理に努めます。

今後、節水意識の向上や節水型機器の普及、使用人口の減少により、汚水水量の減少（＝料金収入の減少）が予想されるため、管理体制の効率化、コスト削減に努めます。また、ダウンサイジングも視野に入れた検討をおこなっていきます。

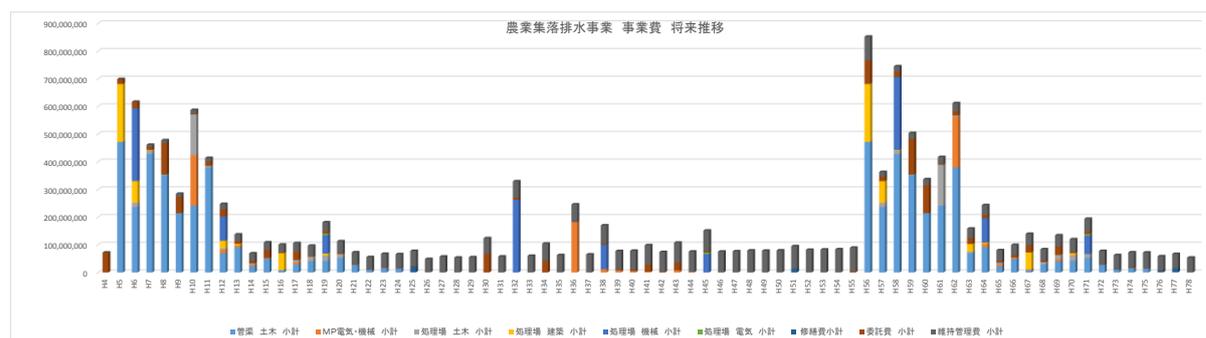
婦恋村水洗便所改造資金融資制度や婦恋村住宅改修等助成金制度について周知し、接続率・水洗化率の向上に向け積極的な広報活動を行います。

4. 経営の効率化・健全化への取り組み

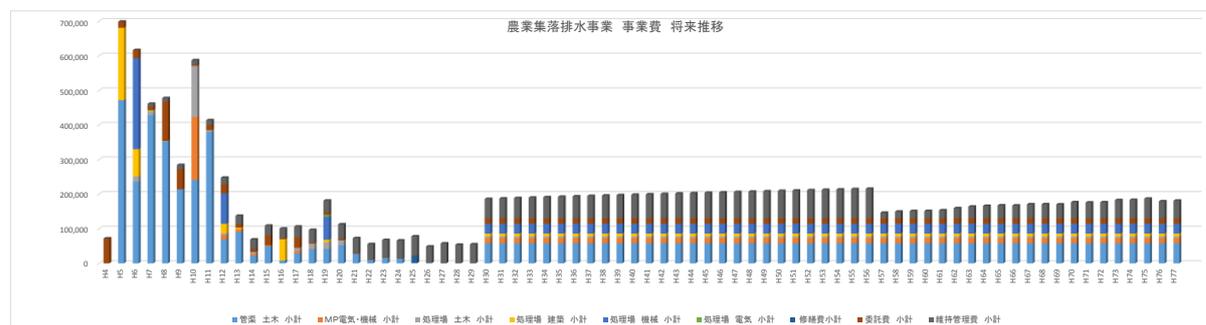
広域化・共同化・最適化に関する事項	料金算定システムを近隣6町村で統一してシステムの最適化を図る
投資の平準化に関する事項	今後ストックマネジメントや長寿命化計画を策定、現状に見合った施設規模（ダウンサイジングや統廃合）を検討する。
使用料の見直しに関する事項	料金収入の低下による財政状況を見極め、見直し時期を定め、検討していく。

5. 投資・財政計画（収支計画）

○事業費の将来推移（耐用年数による更新を実施した場合）



○事業費の将来推移（建設費の均一化）



施設の老朽化に伴い、維持管理費の増大や、老朽化に伴う耐用年数超過に備えての施設更新などの事業費が、施設更新時期には、事業創設時と同等以上の費用が発生する。

その費用を計画的に、且つ一定量の費用で行うこととし、事業費の均一化をはかる。

6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略策定後は、毎年度後に計画値と実績値を検証していき、計画値と実績値が乖離している状況を確認したら、速やかに見直しを行い、健全な経営状態を維持していくことに努める。

|| 孺恋村特定地域生活排水処理事業経営戦略 概要版

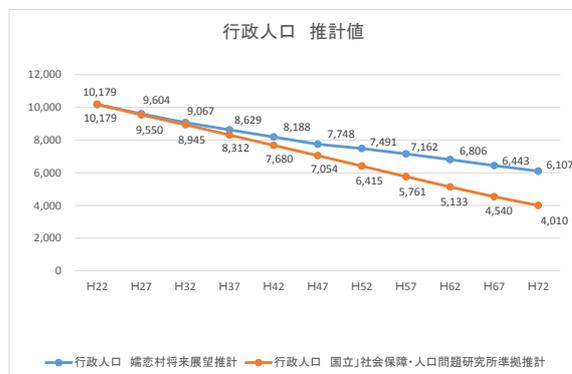
1. 「孺恋村特定地域生活排水処理事業経営戦略」の策定にあたって

近年、施設等の老朽化に伴う更新費用の増大、人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境が厳しさを増すなか、将来にわたって安定的な下水道事業を継続していくため、孺恋村特定地域生活排水処理事業における中長期的な計画である「経営戦略」策定を行うことを目的とする。

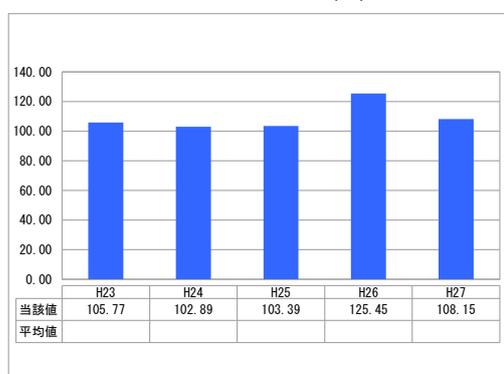
計画期間 平成 29 年度 ～ 平成 38 年度

2. 現状と課題

○将来人口の推計



○経営状況（収益的収支比率(%)）



孺恋村の総合計画では平成 22 年から 5 年間隔で行政人口を推計し、各種政策の実施と合わせ、平成 72 年度には約 6,100 人程度となる予測となっている。

経営状況は施設整備が概ね完了している中、現在は健全な経営を行っている。

平成 16 年度の事業開始から平成 28 年度までの設置基数分に対し、維持管理費の増加と耐用年数を迎えるときの更新費用の確保が課題となる。

※現時点では更新時の補助制度に該当なし

3. 経営戦略の基本方針

○経営理念

人口減少や節水意識の高まりにより、汚水水量の減少に伴う料金収入の減少が予想される中、下水道事業は村民の生活や村の産業に直接的な影響を及ぼす基盤事業であると位置づけ、持続的で健全な運営を図りながら、公共水域の水質保全、住民の快適で安全・安心な暮らしづくりに貢献することを基本理念とします。

○基本方針

節水意識の向上や節水型機器の普及、使用人口の減少により、汚水水量の減少（＝料金収入の減少）が予想されるため、設置後の経過年数や利用状況に応じて適切な維持管理に努めます。

孺恋村水洗便所改造資金融資制度や孺恋村住宅改修等助成金制度について周知し、水洗化率の向上に向け積極的な広報活動を行います。

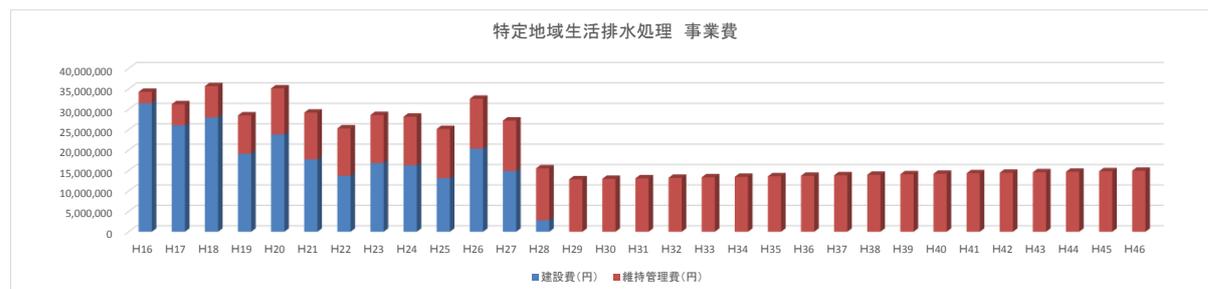
4. 経営の効率化・健全化への取り組み

広域化・共同化・最適化に関する事項 料金算定システムを近隣6町村で統一してシステムの最適化を図る

使用料の見直しに関する事項 料金収入の低下による財政状況を見極め、見直し時期を定め、検討していく。

5. 投資・財政計画（収支計画）

○事業費の将来推移（耐用年数による更新を実施した場合）



施設の老朽化に伴う維持管理費の増大や、老朽化に伴う耐用年数超過に備えての施設更新などの事業費が、施設更新時期には、事業創設時と同等以上の費用が発生する。

その費用の確保が課題となる。

6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略策定後は、毎年度後に計画値と実績値を検証していき、計画値と実績値が乖離している状況を確認したら、速やかに見直しを行い、健全な経営状態を維持していくことに努める。

|| 孺恋村個別排水処理事業経営戦略 概要版

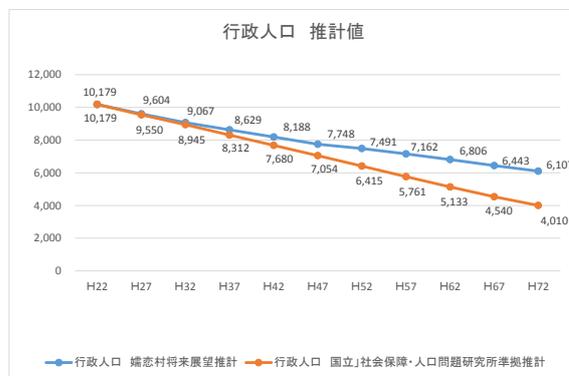
1. 「孺恋村個別排水処理事業経営戦略」の策定にあたって

近年、施設等の老朽化に伴う更新費用の増大、人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境が厳しさを増すなか、将来にわたって安定的な下水道事業を継続していくため、孺恋村個別排水処理事業における中長期的な計画である「経営戦略」策定を行うことを目的とする。

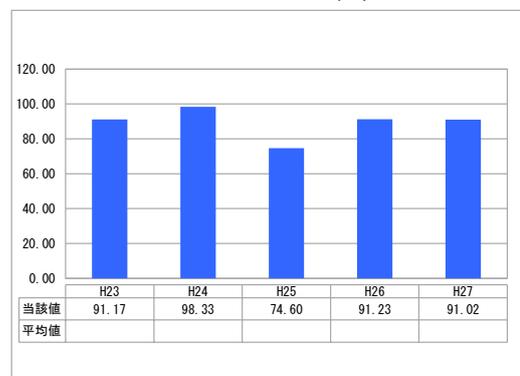
計画期間 平成 29 年度 ～ 平成 38 年度

2. 現状と課題

○将来人口の推計



○経営状況（収益的収支比率(%)）



孺恋村の総合計画では平成 22 年から 5 年間隔で行政人口を推計し、各種政策の実施と合わせ、平成 72 年度には約 6,100 人程度となる予測となっている。

経営状況は施設整備が概ね完了している中、現在は健全な経営を行っている。

平成 11 年度の事業開始から平成 15 年度までの設置基数分に対し、維持管理費の増加と耐用年数を迎えるときの更新費用の確保が課題となる。

※現時点では更新時の補助制度に該当なし

3. 経営戦略の基本方針

○経営理念

人口減少や節水意識の高まりにより、汚水水量の減少に伴う料金収入の減少が予想される中、下水道事業は村民の生活や村の産業に直接的な影響を及ぼす基盤事業であると位置づけ、持続的で健全な運営を図りながら、公共水域の水質保全、住民の快適で安全・安心な暮らしづくりに貢献することを基本理念とします。

○基本方針

節水意識の向上や節水型機器の普及、使用人口の減少により、汚水水量の減少（＝料金収入の減少）が予想されるため、設置後の経過年数や利用状況に応じて適切な維持管理に努めます。

孺恋村水洗便所改造資金融資制度や孺恋村住宅改修等助成金制度について周知し、水洗化率の向上に向け積極的な広報活動を行います。

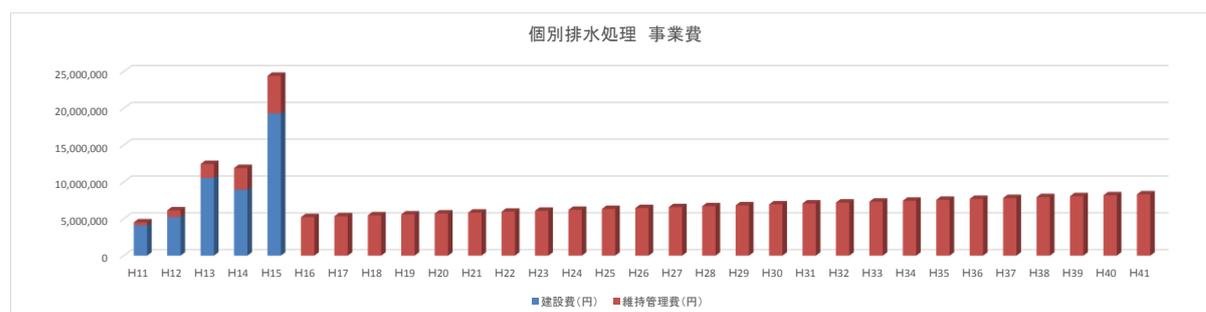
4. 経営の効率化・健全化への取り組み

広域化・共同化・最適化に関する事項 料金算定システムを近隣6町村で統一してシステムの最適化を図る

使用料の見直しに関する事項 料金収入の低下による財政状況を見極め、見直し時期を定め、検討していく。

5. 投資・財政計画（収支計画）

○事業費の将来推移（耐用年数による更新を実施した場合）



施設の老朽化に伴う維持管理費の増大や、老朽化に伴う耐用年数超過に備えての施設更新などの事業費が、施設更新時期には、事業創設時と同等以上の費用が発生する。

その費用の確保が課題となる。

6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略策定後は、毎年度後に計画値と実績値を検証していき、計画値と実績値が乖離している状況を確認したら、速やかに見直しを行い、健全な経営状態を維持していくことに努める。